

令和元年度

# 愛知県立農業大学校



学 校 案 内



農業をささえる担い手を育成しています



# 大 学 校 の 概 要

本校は、農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設として農業後継者や農業の担い手を養成する県立の施設です。

昭和9年追進農場に端を発し、追進営農大学校、農業技術大学校との統合等、時代とともに変遷し現在に至り、県内で活躍している多数の農業経営者並びに農業技術者を輩出してきました。平成20年に、教育部農学科は、学校教育法に基づく「専修学校」になりました。

## 目 的

農業後継者及び農業の担い手等に対し農業の実践教育及び研修を行い、本県農業の振興に寄与する。

## 目 標

- 1 農業者としての自信と誇りの醸成
- 2 農業に関する知識・技術・技能の習得
- 3 経営管理能力の養成
- 4 洞察力・応用力・創造力及び協調性の養成

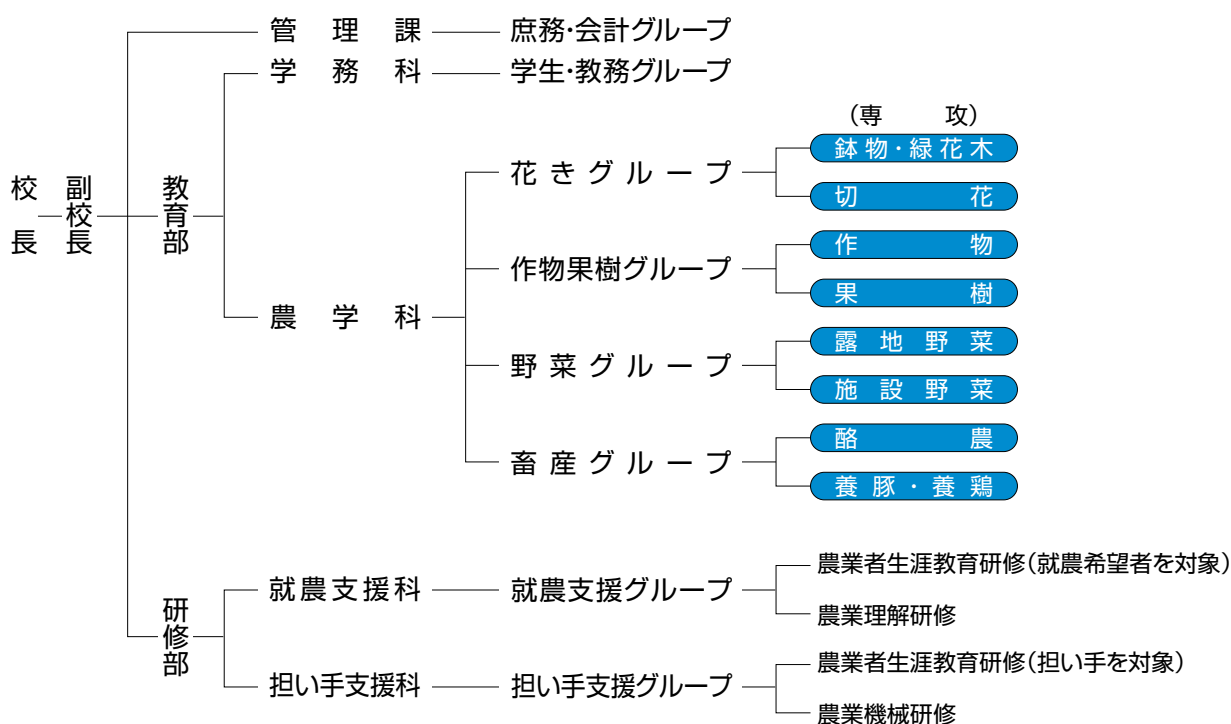
## 教育部

**農学科** ● 高等学校若しくは中等教育学校卒業者を対象に2年間の全寮制による実践教育を基本として、  
【総定員200名】 一般教養や農業の基礎的・専門的教育また先進農家への派遣実習等を通して農業の担い手を養成します。**学校教育法に基づく専修学校で、卒業生には「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。**

## 研修部

農業者には発展段階に合わせた知識・技術・技能を習得するための研修、県民には食料・農業に理解と関心を深めるための研修を行います。

## 組 織



## 職員数

校長	副校長	管理課	教育部		研修部		計
			学務科	農学科	就農支援科	担い手支援科	
1	1	7 (2)	11 (6)	24 (5)	6 (3)	6 (3)	56 (19)

※教育部長は学務科の人員に含まれます。

※( )内数字は非常勤職員数で内数です。

## 施設設備の概要

本学は、水田(3.3ha)・果樹園(2.2ha)・普通畑(8.6ha)の実習ほ場、充実した実験実習の施設・設備及び公安委員会指定運転試験コースを備えています。



中央教育棟



情報処理研修室



図書室



大講義室



教室棟



体育館



鉢物・緑花木温室



切花温室



露地野菜ほ場



作物ほ場



施設野菜温室



果樹園



パーラー施設(フリーストール牛舎)



システム豚舎



鶏卵出荷調整



和耕寮



農業機械施設



トラクター運転コース

# 教育部農学科

## 特徴

- 教育内容は主に農業経営者を目指した一般教養、専門科目の履修を行います。
- 専攻別に分かれ、少数精鋭の実習を主体とした実践教育を行っています。
- 2年間の全寮制です。なお、平成27年度に新寮が完成しました。
- 先進農家への派遣実習を実施しています。
- 1人1課題を設定しプロジェクト学習に取り組んでいます。
- オーストラリアにて7日間の海外派遣研修(ファームステイ)を実施しています。

## 行事・学習等

「農と食」の担い手にふさわしい知識と技術の養成を目指したカリキュラムが組まれています。



## 専攻・学習等

実践力を養うための多種多様な実験実習、演習、実習科目をそろえています。

### ●鉢物・緑花木専攻

ガラス温室4棟、遮光ハウス1棟、露地ほ場などで、鉢花・観葉植物・洋ラン・緑花木・花壇苗等、多くの品目を栽培しています。

温室管理、灌水、施肥、病害虫防除等の栽培管理全般を学習するほか、市場出荷や直売を行うことで、販売方法やマーケティングについても学んでいます。

1年生の2学期には、鉢花・観葉・洋ラン・緑花木の部門に分かれ、少人数体制による細やかな指導の下で、実践的な知識や技術を習得します。

2年生になると、担当する部門で責任を持って栽培管理に取り組みながら、プロジェクト学習を行います。近年のテーマは、省力化、低コスト化、商品価値の向上、新商品開発など多岐にわたっています。



### ●切花専攻

4棟のガラス温室や繁殖室、露地ほ場で、キクを中心に、バラ、カーネーション、ストック、ヒマワリなど、県内で生産の多い品目を栽培しています。一部の施設には、LEDの電照設備やヒートポンプ暖房を導入しています。

切花農家の後継者だけでなく、最近是非農家出身の学生が増加しています。

1年生の8月までは、すべての栽培品目について栽培管理を学び、9月からはキク、バラ及び洋花の3部門に分かれ、責任を持って栽培管理に取り組みます。生育状況を観察しつつ、必要な作業を学生と職員がともに考えながら学習を進めています。

1年生の後半からは、プロジェクト学習に取り組みます。テーマは栽培方法の検討、品種比較など様々ですが、いずれも単なる調査ではなく、品質向上やコスト低減、省力化など実際の農業経営の改善につながる課題を取り上げます。



### ●作物専攻

1haの大区画水田など大小9区画、計3.3haの水田ほ場で大型機械を利用し、水稲、小麦、大豆の栽培に取り組んでいます。また、育苗施設や乾燥調製施設を利用し、育苗から生産物の調製まで実習で行います。さらに、収穫物を利用した味噌や五平餅などの加工実習も行っています。

1年生では水稲栽培や機械操作の基本知識を身に付ける実習を進めています。

1年生の後半からプロジェクト学習が始まります。本校では農業総合試験場が開発した新品種や新技術をいち早く導入しており、これを題材にした新品種の栽培法、不耕起V溝直播栽培や稲WCSに関する課題、無農薬・無化学肥料栽培など付加価値の高い生産方法等に取り組んでいます。また、昨年からはICTを用いた営農支援システムを活用した農業経営手法についての学習も行っています。



### ●果樹専攻

果樹専攻は約2.5haの栽培面積で、ブドウ、ナシ、カキ、モモ、イチジク、ハウスミカン等を実習教材として栽培しています。樹種で時期別作業が重複するために、4月から8月終わりまでは摘果や袋掛け、収穫調製などの管理作業で特に多忙です。

入学当初は多くの樹種の基本的な栽培管理技術を学びます。その後、希望する樹種とプロジェクト学習のテーマを決めて、より専門的な知識・技術を習得します。今年のテーマは、「ブドウにおける長期貯蔵技術の検討」、「マルチと除袋の組み合わせによるモモの着色改善」などです。



# 教育部農学科

## 専攻・学習等

### 園芸農産課程

#### ●露地野菜専攻

露地畑1.5haでキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、スイートコーンを中心に県内の主要野菜に加え、新品目も取り入れて約40品目程度を栽培しています。また、イチゴは本専攻で取り組んでおり、高設栽培においてICTを活用した施設内環境のモニタリングを行っています。

露地野菜の実習は、屋外が中心で天候に左右され、重労働が多く大変ですが、農業機械を駆使して2年生と1年生が協力して取り組んでいます。

プロジェクト学習は、2年間で1人2課題を実施します。学生自身が品目と研究テーマを決めて試験設計及び栽培計画を立て、播種から収穫・調製まで責任を持って管理します。実習やプロジェクト学習を通して、農業機械の操作方法や実践的な栽培技術、経営管理能力を習得します。

今年度のプロジェクト学習のテーマは、「トウモロコシのマルチ資材の違いが生育・収量に及ぼす影響」、「スイカの台木の違いが生育、収量、品質に及ぼす影響」などです。

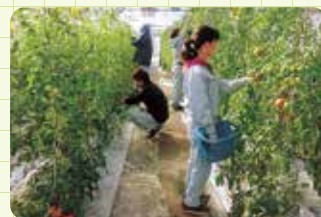


#### ●施設野菜専攻

本専攻は10棟ある温室で、トマト、ナス、キュウリ、温室メロンを中心に栽培しています。最近では、土耕栽培に加えて、水耕栽培、ココバック栽培、袋培地栽培、少量培地密植栽培など、県内の現場で普及している最先端の栽培システムを導入しています。また、農業総合試験場や種苗会社と連携を図り、今後普及が見込まれるナスの単為結果性品種やトマトの耐病性品種などの実証栽培に取り組み、新技術の検証を行っています。さらに、来年度に向け、トマト栽培で環境制御技術を取り入れた実践教育を行うためのICT温室の整備をしています。

本専攻では、1年生の前半は主要品目の基礎栽培について幅広く学び、後半から卒業までの間に自分の希望する品目について研究テーマを設け、より専門的な実践技術を習得します。

プロジェクト学習では、2年間で1人2課題を実施します。本年度は「強制台木を利用したトマト促成長期栽培に適した仕立て方の検討」や「ナス養液土耕栽培における局部加温の影響」などに取り組んでいます。



#### ●酪農専攻

新日4つの牛舎でホルスタイン種の搾乳牛約25頭、育成牛約20頭、肥育牛約30頭および繁殖和牛5頭を飼育しています。また、自給飼料として牧草やトウモロコシ等を生産しています。

学生は、酪農を中心に肥育牛を含めた飼養管理技術を習得します。在籍する学生のうち約4割を女性が占めます。ほとんどが非農家出身者であり、多くの学生がここで初めて本格的な酪農作業を経験します。

初めて牛に触れる新入生も、2年生の助言を受けながら搾乳や給餌、除糞など基本的な管理作業を習得し、牛の扱い方に慣れていきます。酪農家や外部講師を招いて講義を受けたり、農協などの関係機関や団体の支援を得て牛の共進会に出品する技術を磨いたりします。2年生はより高度な技術習得とともにプロジェクト学習を行います。テーマは搾乳牛や子牛の飼養管理、繁殖、環境問題など多岐にわたります。

畜産の中では唯一、一般の見学を受け入れ、本校周辺の児童、園児などが家畜とのふれあいのため訪れています。



#### ●養豚・養鶏専攻

最近では県外出身者を含めて在籍する学生が増え、賑やかになっています。その多くが養豚・養鶏の後継者ではありませんが、1年生の5月には本人の希望に沿って、豚と鶏のコースに分かれ、基本的な飼養管理を習得していきます。

養豚コースでは、県の系統豚であるアイリスを用いて豚の交配から肉豚出荷に至るまでに必要な技術と知識を学んでいます。また、深部注入人工授精やホルモン剤による発情の同期化など、新しい技術も積極的に取り入れています。

養鶏コースでは、開放・ウインドウレスの2種類の成鶏舎で名古屋コーチンを主体とした採卵鶏の飼育管理と、ウインドウレス育雛舎で初生雛からの育成管理を学びます。また、毎週水曜日の実習販売では、鶏卵の直売を通して販売管理を経験し消費者のニーズに触れることができます。



### 畜産課程

## 年間教育計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	入学	学習期間			夏休	学習期間	派遣実習		学習期間	冬休	学習期間	春休
2年	春休	学習期間			夏休		学習期間		冬休	総括学習	海外派遣研修	卒業

**教育科目** ● 講義(17.5%) 演習・実験(26.3%) 実習(56.2%)

**教養科目** ● 暮らしと経済 暮らしと法律I 自然科学 生物学実験 実践英語 体育

**専門科目** ● 農業経営I 経営管理演習 農業機械実習 土壌と施肥設計 飼料作物  
 農業政策 土壌肥科学実験 GAP概論並びに環境保全と農業 家畜栄養 海外派遣研修  
 農業簿記 農業機械利用 農業機械利用 情報処理演習 植物生理 家畜繁殖 卒業論文  
 土壌肥料学 経営管理 育種と採種 病害虫と防除計画 家畜生理

**選択科目** ● 暮らしと法律II 農村生活環境 バイテク論 資格取得講座(毒物劇物取扱者、危険物取扱者、ボイラー技士、大型特殊免許等)  
 労働の科学 作物学概論 畜産学概論  
 健康と栄養科学 園芸学概論  
 農業経営II 文章表現 実用数学 農業時事

**資格・免許** ● 在学中に取得することができる資格、免許  
 毒物劇物取扱者 大型特殊・けん引免許(農耕車限定) 危険物取扱者 ボイラー技士  
 小型車両系建設機械 アーク溶接 フォークリフト 刈払機 家畜人工授精師 日本農業技術検定

## 学費等(1年間)

入学金 5,650円(入学時のみ) ※令和元年度の金額です。  
 授業料 60,000円 (左記の他に、生活・教材費として実費相当分(370,000円程度)、寮での食事代、  
 寄宿舎使用料 32,400円 (光熱水費等が必要になります。)  
 2年次には海外派遣実習費(約300,000円)が必要になります。)



**先輩達からのメッセージ**  
 白井 悠登さん[切花専攻]

私の家は切花を栽培する専業農家で、幼い頃から家の仕事を手伝っていたので、将来農家を継ぎたいと思い、農業高校に入学しました。卒業後、更に切花についての知識を深めたいと思い、農業大学校へ進学しました。

切花専攻ではキクを中心にバラ、カーネーション、ストック、ヒマワリなどを栽培しており、収穫した切花は市場出荷のほか、毎週水曜日に行っている実習販売や、12月上旬に開催される農大祭などで販売をしています。

さらに農業大学校の魅力は、友人がたくさんできることや、他の学校では学べないことがたくさんあるところです。普段の実習の他にも、1年次に先進農家の下で40日間学ぶことのできる派遣実習や寮生活など、農業を学びたい人はもちろん、自分を成長させたい人はぜひ農業大学校へ来てください。



**先輩達からのメッセージ**  
 平山 奨吾さん[作物専攻]

私の家は水田作農家です。将来は自分が継ぎたいという思いが幼い頃からあり、農業高校へ進学し稲作のことを学びました。そして、更に水田作に関する実践的な知識や技術を身につけたいと思い、農業大学校へ進学しました。作物専攻は、水稲・小麦・大豆といった愛知県で広く行われている2年3作の栽培体系が学べ、不耕起V溝直播栽培や稲WCSの栽培、新品種の栽培試験など様々なことが学べます。また、ICTを活用した営農支援システムを実習での栽培で実際に使い、最新の技術にも触れながら学ぶことが出来ます。

農業大学校では寮生活ということもあり、仲間と深い関係が築けます。この仲間が将来農業をやっていく上での大切な財産になると信じています。農業大学校で大切な仲間と農業について学びませんか。

# 教育部農学科

## 卒業後の主な進路

- 就農 49%程度 (自営・就職就農、将来予定含む)
- 就職 42%程度 ●進学、その他 9%程度
- 主な就職先 (順不同、平成28～30年度実績、一部に研修を含む)

<b>農協関係</b> ●	JAあいち経済連	JA愛知西	JAあいち尾東	JA尾張中央
	JAあいち海部	JAあいち知多	JAあいち中央	JAあいち三河
	JA西三河	JAあいち豊田	JAひまわり	JA愛知東
	JA豊橋	JA蒲郡市	JA愛知みなみ	豊橋温室園芸農協
<b>農業関連企業関係</b> ●	クボタアグリサービス(株)	ヤンマーアグリジャパン(株)	イノチオHD(株)	東海物産(株)
	DCMカーマ(株)	(株)コメリ	クラギ(株)	名古屋ゴルフ倶楽部
	(株)坪井花苑	清和肥料工業(株)	(株)野崎採種場	(株)中神種苗店
	全農畜産サービス(株)	丸トポーター食品(株)	(株)無門福祉会	トヨタ白川郷自然学校
<b>農業法人関係</b> ●	(有)アグリ尾張中央	(有)鍋八農産	(株)アグリみかわ	(農)ファームズ三好
	服部農園(有)	(有)ゴトーアグリ	(有)千姓	(有)新鮮農場
	(株)にいみ農園	(株)マーコ	(有)竹内牧場	(株)福井牧場
	(株)星川畜産	(有)マルミファーム	(株)奥三河チキンファーム	サンエッグファーム(株)
<b>青果物等流通関係</b> ●	セントライ青果(株)	愛知県中央青果(株)	(株)知多総合卸売市場	(株)名港フラワーブリッジ
<b>公務員関係その他</b> ●	愛知県一般職非常勤職員(東三河農業研究所 農業大学校) 農林高等学校臨時実習助手(稲沢高校 安城農林高校 新城高校)			

## ●主な研修・進学先 (平成28～30年度実績)

<b>研 修</b> ●	海外研修(アメリカ オランダ) 国内研修(農業法人 先進農家)
<b>進 学</b> ●	4年制大学農学系学部3年次への編入(信州大学 岐阜大学 酪農学園大学) 日本農業経営大学校 タキイ研究農場園芸専門学校



**先輩達からのメッセージ**  
西土 剛太さん[施設野菜専攻]

私の家は大葉とキャベツを栽培する専業農家です。

私は、工業高校卒業後はすぐに就農したいと考えていました。しかし、父から「見聞を広げてから就農しても遅くはない」と、愛知県

立農業大学校への進学を薦められました。農業大学校について調べると歴史が古く、学習施設が整い、また実習時間が多いため、就農前に農業に関する実践的な技術を学ぶことができました。

入学後は農業の知識が全くなかったため、ひとつひとつの作業に戸惑うことはかりでしたが、専攻の先生や先輩方がやさしく丁寧に教えてくれるので、安心して実習に専念しています。

実習では、担当作目を学生が主体となって、播種から収穫まで管理作業を行うため、2年間で農業の基礎から専門技術までより深く、多くのことが経験できます。将来農業を職業とする学生が集まっており、他学生と打ち解けるのも早く、農業を学ぶにはとても良い環境です。

高校卒業後、即就農をするのもよいですが、真剣に農業を学びたいと思っている人は農大で充実した2年間を過ごしてみませんか。



**先輩達からのメッセージ**  
池永 真大さん[酪農専攻]

私は、兵庫県の非農家出身です。高校は普通科に進学しました。将来、酪農関係の仕事に就きたいと思い、農業大学校へ進学しました。

酪農専攻では、搾乳牛25頭、育成牛20頭、繁殖和牛5頭、肥育牛30頭を飼養しています。私は、入学直後には酪農の知識が全くなく、作業をする際も戸惑いだらけでしたが、獣医師の先生や先輩同級生の助けがあり、牛の病気や飼養管理の知識と技術を学び、日々成長していくのを実感しています。

将来、農業・酪農関係の仕事に就きたいと思う人にとって、自分の目標を実現できる学校です。



## 海外派遣研修

農学科では、国際性を身につけ、グローバルな視野で農業を見る感覚を習得する目的で、2年次に1週間の海外派遣研修を実施しています。例年、オーストラリアでのファームステイを通して、現地での食生活や生活習慣、農作業等を体験します。専攻別視察では、現地の農家等を視察し、農業事情を学びます。

また、市場を見学する中で日本の市場との違いやマーケティングについても学びます。

初めて海外に行く学生も多く、通常ではできない経験や、ホストファミリーとの英会話を通して、自身で培ってきた語学力を試す良い機会ともなり、将来の就農・就職等において有意義な研修となります。



## 派遣実習

先進農家等の優れた知識・技術を体験させ、今後の勉学に役立たせる目的で、1年生時の9月中旬から10月下旬の約40日間にわたり農家への派遣実習を行います。

派遣実習は宿泊もしくは通学で研修を行い、農家生活を体験します。実践的な生産技術や経営方法、経営観に触れるとともに、多くの関係者と交流する機会を得て地域との関わりを知り、本校に在るだけではわからない農業を肌で感じ学ぶものです。また、農業について漠然としたイメージしか持っていない非農家学生が実際の農業経営に触れる事により、将来自分の進むべき道が農業か否か、またどんな経営に携わりたいのかを選択する、いわばインターンシップとしても位置付けています。

派遣実習に参加した学生からは、「大変ながらも貴重な体験をした」「学校では学べない知識技術を知った」の他、「コミュニケーション能力の大切さが身に染みてわかった」「自分の甘さを知り今後の自分を鍛え直したい」などの感想が寄せられています。



### 卒業生からのメッセージ

八木 輝治さん [平成3年卒業]

卒業して20年以上経ちます。当時の学校生活を振り返ると多くの農業経営を目指す人との出会いや県職員の皆さんとの出会いが有りました。そして今も当時の様々な人達と繋がっています。そんな場を提供して頂ける学校だと思います。

全寮制という事も幅広い地域の仲間もすぐできると思えます。この学校での授業や実習、また遊びも全て大切な時間でした。

この学校に入学してから農業をやろうと思った事も忘れていません。この学校に興味のある皆さん、入学し、そして卒業した後は、どんな形でもかまいません。「農業」という職に関わった仕事について下さい。そしてこれからの日本の農業をさらに発展させるために、さまざまな角度から農業をみて下さい。

農業には終わりがありません。面白い、そして儲かる取組みができるようにこの学校で学んで経営や様々な提案ができるような人に育て下さい。この学校では農業にまつわるいろいろな事が学べると思えます。農家、非農家関係なく楽しい時間を過ごして下さい。

八木さんは、平成28年度農林水産祭において農林水産業者の最高の栄誉である天皇杯を受賞した(有)鍋八農産の代表を務め、大規模水田の経営や総合ビジネスの展開などで活躍しています。



### 卒業生からのメッセージ

高平 隼人さん [平成30年卒業]

愛知県立農業大学校は農業に関する知識を得ること、経験を積むことは勿論ですが大きな特徴の一つに寮生活があります。寮生活は同じ農業を志す仲間たちと2年間の共同生活を行う場です。不安に思う人もいられるかもしれませんが、困った時にはすぐ近くに仲間も舎監さんもいます。安心して下さい。食堂は併設されていますが、食事以外のことは自分自身でやらなければいけません。自立心を養うにはいい機会かもしれません。ただその分自由な時間が増えます。アルバイトをするもよし、クラブ活動をするもよし。授業外の時間を有効に活用することができます。私もテニス部に軽音楽部にと、学生の間だからこそできることを楽しみました。授業と自分の時間のメリハリをしっかりとすればあなたの農大ライフはとても充実したものとなることでしょう。寮生活で得た友人は卒業後も頼りになるかけがえのないものとなるでしょう。この2年間を生かすも殺すもあなた次第です。あなたも一歩踏み出してみませんか。

# 教育部農学科

## 学生寮での生活

農学科の学生は、全寮制による共同生活を送ります。学生寮は、平成28年1月に建て替えられ、全室個室となりました。各室にはエアコンを完備しています。トイレは全て洋式で、大きな共同浴場や食堂も併設しており、快適な生活を送ることができます。また、友人と歓談できる共有スペースとして談話コーナーも設置しています。



## 農大祭

農業大学校最大の行事が農大祭です。地域の皆様との交流を図り、愛知県の農業の魅力を県民の皆様を知っていただくことを目的に毎年12月の第1土曜日に開催しています。農大生が丹精込めて育てた自慢の農畜産物の販売や学生手作りの加工食品のバザー、農業大学校に関わる農業団体・企業の出展、農大キャンパスツアーなど、農業大学校を身近に感じて楽しんでいただける催しを行います。

令和元年度は12月7日(土)に開催します。

〔平成30年度の主な販売品目〕

花き：シクラメン、アンズリウム、ポインセチア、パンジー、キク、バラ

作物：コシヒカリ、あいちのかおり、もち米

果樹：ナシ、カキ、シャインマスカット

野菜：キャベツ、ハクサイ、ニンジン、レタス、ダイコン、キュウリ

鶏卵：名古屋コーチン、紅白ミックス、岡崎おうはん等の各種鶏卵



## クラブ活動

農業大学校では、学生生活を健全で有意義なものとするため、学生が組織するスポーツ・文化・教養等のクラブ活動を支援しています。

令和元年5月現在、次のクラブがあります。

### 【体育関係】

野球、テニス、陸上、フットサル、バレーボール、  
バスケットボール、バドミントン、卓球

### 【文化関係】

茶道、軽音楽、写真、農業商人塾

また、東海近畿地区の9校の農業大学校生が一堂に会して行われる「東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会」では、クラブの部員が中心となって参加し、毎年優秀な成績を収めています。

平成30年度の奈良大会では、団体競技で野球、バスケットボール、卓球の3競技で優勝したほか、個人競技では、卓球女子ダブルス、バドミントン男子シングル、テニスの男子シングルの種目で優勝しました。



# オープンキャンパス・体験学習

農業及び農業大学校への理解を深めてもらえるようオープンキャンパス及び緑の学園研修を開催します。

## 農大発見の日

- 内 容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び受験相談等  
**対 象** ● 農業大学校に入学の関心のある方及び御家族等  
**開 催 日** ● 第1回 令和元年 6月 8日(土)  
第2回 令和元年 6月15日(土)  
**開催時間** ● 午前10時から正午まで  
**参加申込** ● 事前申込不要、当日直接来てください。  
**問い合わせ** ● 愛知県立農業大学校 教育部学務科 学生・教務グループ  
(電話)0564-51-1602(ダイヤルイン)



## サマーキャンパス

- 内 容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び場内販売見学  
**対 象** ● 農業大学校に興味のある高校生及び県民の皆様  
**開 催 日** ● 第1回 令和元年 7月31日(水)  
第2回 令和元年 8月 7日(水)  
第3回 令和元年 8月28日(水)  
**開催時間** ● 午後1時30分から午後3時まで  
**参加申込** ● 事前申込不要、当日直接来てください。  
**問い合わせ** ● 愛知県立農業大学校 教育部学務科 学生・教務グループ  
(電話)0564-51-1602(ダイヤルイン)



## 緑の学園研修

- 内 容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び体験実習  
**対 象** ● 農業大学校に興味のある高校生  
**開 催 日** ● 第1回 令和元年 7月23日(火)  
第2回 令和元年 7月25日(木)  
第3回 令和元年 8月20日(火)  
第4回 令和元年 8月22日(木)  
第5回 令和元年12月24日(火)  
**開催時間** ● 午前10時から午後4時30分まで  
**定 員** ● 各回30名  
**参加申込** ● 受講申込書によりお申込みください。  
**問い合わせ** ● 愛知県立農業大学校 研修部就農支援科  
(電話)0564-51-1034(ダイヤルイン)



## 参加者の感想・意見

- とても広くいろいろなことが学べると思いました。
- 目的があって入学した人が多いので、学生さん達がすごくみんな活き活きしていた。
- しっかりした設備で広大な敷地がすばらしい。
- すごく場所(畑)が広くてびっくりしました。ブドウ甘くてとってもおいしかったです。
- 農業に対する興味がさらに膨らみました。
- 圃場のすみずみまで説明して下さった、分かりやすかったです。
- 保護者も楽しく見学できました。

# 研修部

## 特徴

- 農業者や新たに農業を目指す人達を対象に、農業に関する知識・技術・技能を習得するための「農業者生涯教育研修」を実施します。
- トラクターなどの農業機械を安全・効率的に使用するための「農業機械研修」を実施します。
- 県民を対象に、食料・農業・農村に対する理解と関心を深めるための「農業理解研修」を実施します。
- 本校の施設を積極的に活用して多くの県民が参加できる農業とのふれあいの場づくりを進めます。

## 農業者生涯教育研修

### 緑の学園研修

主に高校生（農業を学びたい高等学校卒業者を含む）を対象に、1日農業体験を通じて農業への理解を深めます。また、農業関係高校生を対象に地域の農業・農村の理解を図ります。

### ニューファーマーズ研修

Uターン就農者、新規参入者を対象に、農業経営に必要な基礎知識・技能の修得を図ります。

### 農業者育成支援研修

新規就農希望者を対象に、就農に必要な基礎的な経営や技術に関する知識及び露地野菜栽培に関する技能の修得を図ります。

### 雇用創出農業研修

新たに農業経営を開始したり農業法人等へ就職を希望する離職者等を対象に、約9カ月間、農業に関する基礎知識・技術の修得を図ります。

### 経営管理研修

経営管理能力・分析能力・企画能力・危機管理能力等の向上を図るため必要な知識・技術の習得を図ります。

### 生産高度化研修

野菜や畜産など生産部門別に新技術及び経営に関する知識の習得を図ります。

### 農産物利活用研修

起業や6次産業化に必要な農産加工等に関する知識・技術の習得を図ります。

### G A P 研修

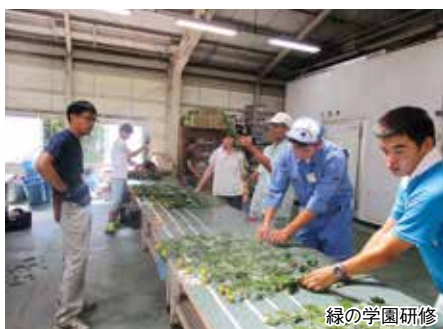
農業経営の改善につながるGAP（農業生産工程管理）の取組を広く普及させるため、必要な知識の修得を図ります。

### 女性農業者支援研修

女性農業者を対象に、農業経営の向上に必要な知識の修得を図ります。

### 農業経営塾

優れた経営感覚を備えた農業者を育成するため、経営に関する高度な知識の修得を図ります。



緑の学園研修



ニューファーマーズ研修



経営管理研修



生産高度化研修



農産物利活用研修



雇用創出農業研修

## 農業機械研修

道路交通法に従い、安全に農耕車を運転する免許を取得します。

**大特免許研修** **けん引免許研修**

労働安全衛生法に基づく資格を取得します。

**フォークリフト研修** **小型車両系建設機械研修**

**刈払機研修** **アーク溶接研修**

機械化営農に必要な技能・知識を習得します。

**大型トラクター作業研修** **小型トラクター利用研修**



けん引免許研修



フォークリフト研修



アーク溶接研修



大特免許研修



小型車両系建設機械研修



大型トラクター作業研修

## 農業理解研修

**県民公開講座**

県民を対象に、食料・農業・農村に関する理解を深めるための研修を実施します。

**農業ふれあい研修**

園児・小中学生等を対象に、農業に親しむためのプログラムを通じて農業理解を深めるための研修を実施します。



県民公開講座



農業ふれあい研修





募集に関する詳細は、愛知県立農業大学校教育部学務科（電話0564-51-1602）  
又は最寄りの農林水産事務所農業改良普及課へ問い合わせてください。

なお、募集案内等、出願に必要な書類の郵送を希望する人は、『学生募集案内  
希望』と朱書し、あて先明記の返信用封筒（24cm×33cm、郵便切手205円分  
を貼ったもの）を同封して愛知県立農業大学校に申し込んでください。

また、インターネットホームページにも掲載してあります。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

## 所在地と交通案内

〒444-0802

岡崎市美合町字並松1-2

**TEL** 管理課 (0564)51-1601

学務科 (0564)51-1602

農学科 (0564)51-1673

研修部 (0564)51-1034

**FAX** (0564)51-4831

- 名鉄美合駅下車 徒歩約10分
- 東名岡崎インターチェンジから車で約10分
- JR岡崎駅下車 名鉄バス「東岡崎(緑丘経由)」か「市民病院(美合経由)」行きで「平地」下車 徒歩約5分

